

秋の陽だより

練馬区立光が丘秋の陽小学校
https://www.nerima-tky.ed.jp/akinohi-e

練馬区光が丘 2-1-1
TEL 3976-6331
FAX 5383-3595
校長 関根 幸男

学校評価号



令和6年3月1日

令和5年度『学校経営・教育活動評価』の結果報告

今年度も本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、ありがとうございました。

児童、保護者の皆様にもご協力いただいた学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。このアンケート結果は学校評議員会でも報告し、学校評議員の皆様からもご意見をいただきました。一つ一つのご意見ご要望についての回答を掲載していませんが、令和6年度の教育活動に生かし、さらに充実させてまいります。

◎ 回収数 児童数 298名 保護者・学校評議員数 88名

皆様からいただいたご意見、ご要望などの主なものを載せてあります。

○・・・肯定的意見 ●・・・否定的意見 ☆・・・要望または提言

下の枠囲いの中には、考察や改善策等を記載しました。丸付き数字は設問番号に対応しています。

グラフの見方

上段…児童 下段…保護者・学校評議員

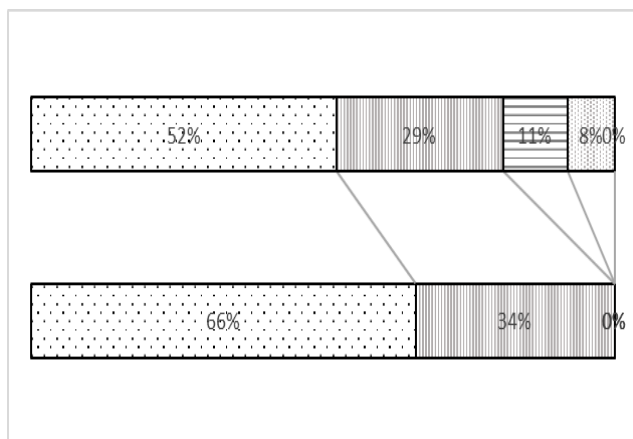
左から「よい・あてはまる」→「だいたいよい・だいたいあてはまる」

→「あまりよくない・あまりあてはまらない」→「よくない・あてはまらない」→「わからない」

【児童・保護者・学校評議員による評価】

< I 「家庭・地域と連携して教育を推進する学校」について >

①開かれた学校づくり



○よく運営されていると思う。

☆個人面談を決まった時期に実施してほしい。

☆学校からのお便りをメールなどのデータで送ってほしい

☆子供の体験学習や行事等を参観できる機会を多くしてほしい。

☆学年だよりなどの予定の載っているお便りを月末よりも少し早めに出していただくと助かる。

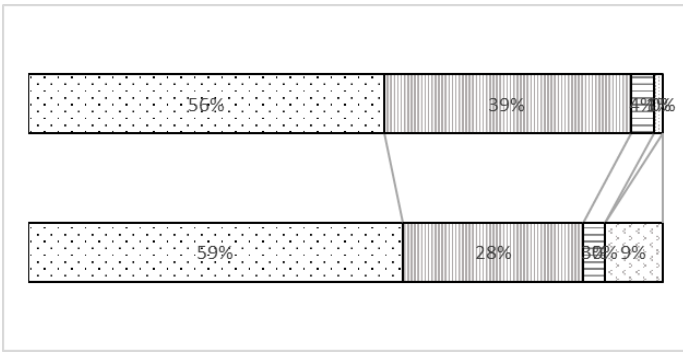
①令和6年度より練馬区の働き方改革の取組により、通知表の所見の記載が年度末の1回とすることになりました。その改革を受け、光が丘秋の陽小学校では令和6年度の1学期と2学期に個人面談をすることにしました。担任と保護者が子供の実態を共有し、直接学習や生活の様子をお話したいと思えます。

①これまでの「学校連絡メール」や「欠席連絡」等の機能を有した、保護者向け情報伝達サービス「sigfy (シグフィー)」を令和6年度より本格運用していきます。これまで紙で児童に配布していたお便りの一部(学校だより、保護者向け保健だより等)をデータで保護者に直接送信する予定です。

①予定の載っているお便りも早めに出せる場合には発行していきます。

<Ⅱ「確かな学力の向上を図る学校」について>

②授業力の向上



○子供たちが参加しやすいよう授業内容がすごく考えられ、準備されていると感じる。

○漢字テストの前に宿題で練習があるため、テストでの正解率が上がった。算数では新しい単元に入る前に導入の授業があるので、難易度が徐々に上がり、分かりやすいと子供から聞いている。子供たちが取り組みやすいように工夫していただいている。

○子供たちが楽しく授業を受けられるように、スライドを用意したりクイズ形式にしたりして、親もとても興味深く見ることができた。

○算数の習熟度別指導がいいと思う。

●勉強が苦手な子に対してのフォローが不安な部分がある。

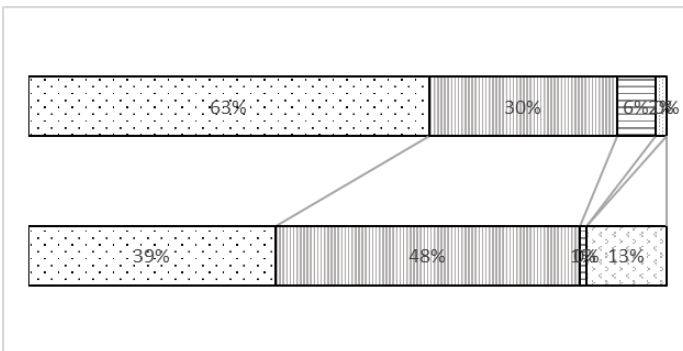
●タブレットを使用した調べ学習の発表を見たときに、子供たちが調べたことをそのままコピーしているようだった。調べた言葉の意味や内容を理解できているか疑問に思った。

●クラスの中で教員が特定の児童とのやりとりに終始せずに、クラスの児童全体の関心をひく工夫と、理解度を把握するよう確認しながら進行するマネジメントをお願いしたい。

☆タブレットをより活用できればいい。

☆オクリンクの活用が増えるといい。

③よく分かる授業の推進



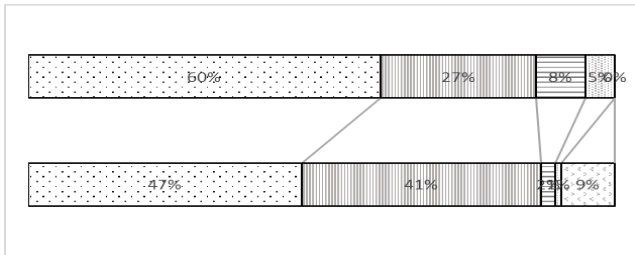
②教員一人一人の授業力が向上できるように、校内でお互いの授業を参観し、改善に向けて協議等を行っています。子供たちが「知る喜び」や「わかる喜び」を味わえることができる授業になるように取り組んでいます。個々の児童への対応と、全体指導のバランスをとり、総合的にクラスの児童全体の向上につながるクラス経営と、そこへの支援について引き続き取り組んでいきます。

③タブレット PC については、4年目になり分かりやすい授業になるように活用しています。また、ICT 教育については、大型提示装置を使って活用の工夫に取り組んでいます。学校全体で研修・研究をしているところです。さらに効果的な授業ができるように、他校の授業実践例なども参考にしながら取り組んでいきます。また、全国的にネットを介した犯罪に子供が巻き込まれたり、参加してしまったりといった事案が増加しています。セーフティ教室や日々の指導から、情報リテラシーやインターネットの危険性などをさらに伝えていきます。

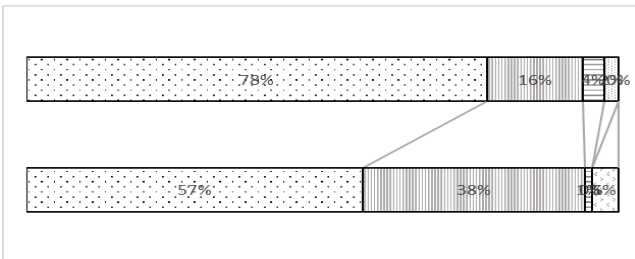


<Ⅲ「豊かな心をはぐくむ学校」について>

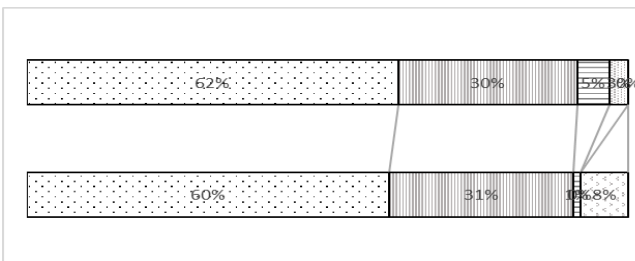
④生命や人間尊重の精神の育成



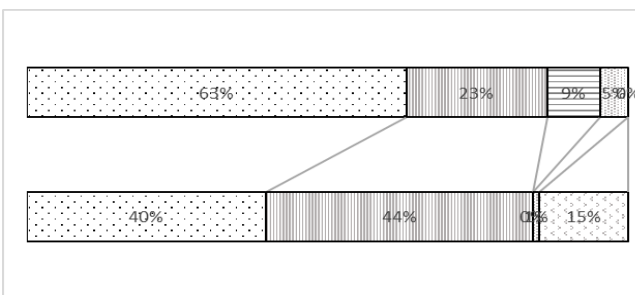
⑤豊かな感性や創造性の育成



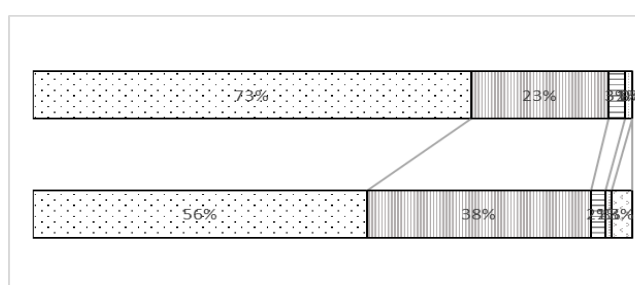
⑥環境教育・勤労生産教育の充実



⑦いじめの防止と根絶



⑧潤いのある学校環境



○読書旬間の取り組みがよいと思う。積極的に取り入れてほしい。

○お米作りの体験が素晴らしいと思いました。どれだけ大変な作業を経て、一粒一粒のお米が大切なものが分かったと思う。

○登校しぶりがあったときに、相談員の方に温かく接していただいた。

●畑が多い地域なのでもうちょっと体験する機会があると嬉しい。

●子供の言葉遣いがよくないなと思うことがある。

●暴力や陰口など、いじめの火種になりそうなことが起きているのが気になる。

☆不安や心配事を抱えていても上手く話せない子がいると思う。どうかうまくそうした子の状況も把握してあげてほしい。

☆人を思いやることを学んでほしい。

☆学校農園が広くあるので、運営や管理を改善できないか。



④言葉遣いへの指導や、根幹となる相手への思いやりの心をもつことなど、日常的に指導していきます。ご家庭との連絡や連携も密にしていきたいと思えます。

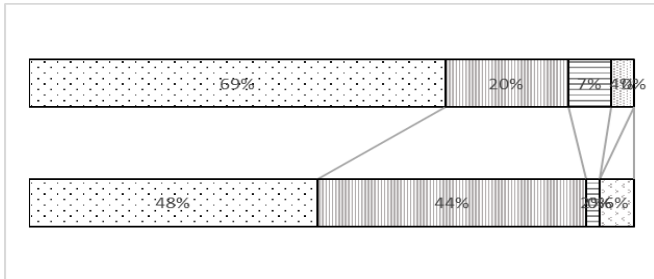
⑤今年度は授業での活動制限もなくなり、子供たちの感性や創造性を存分に生かした教育活動を行うことができました。来年度も継続していきたいと思えます。

⑥学校農園の手入れや管理等は学校職員だけでは限界があります。今年度は農業体験として近隣農家の方をお招きして、実践的な手ほどきを教わりました。ボランティア等の活用も検討していきます。

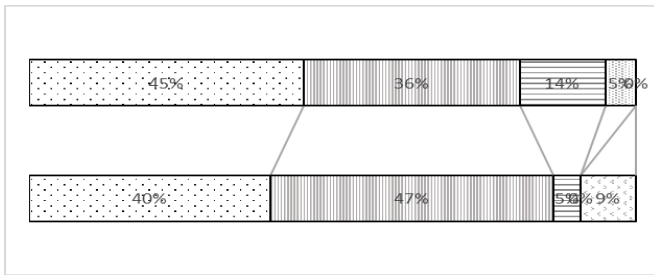
- ⑦学校いじめ防止基本方針に基づき、全教育活動において人権教育を柱とした心の教育の充実を図り、自他の生命を尊重し、互いを思いやる心を育てます。相談できる大人が複数人いる体制（担任、特別支援コーディネーター、スクールカウンセラー、心のふれあい相談員、生活支援員等）にし、組織的対応をしています。
- ⑧校内の清掃や修繕は定期的に行っています。修繕予算が多くかかることもあり、その場合は区教委とも相談しながら、年数をかけてでも計画的に進めていきます。

<Ⅳ「健康・体力の向上を図り、安全を守る学校」について>

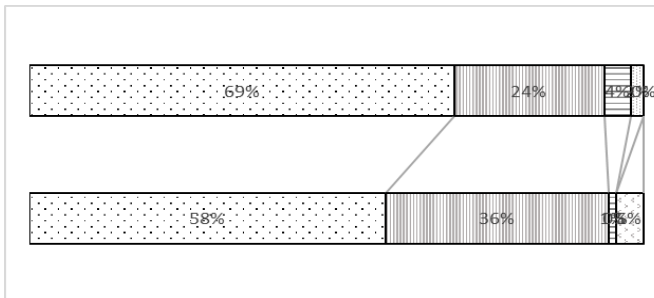
⑨体力づくりの推進



⑩健康教育・食育の推進



⑪安全を守る学校



- 休み時間に子供たちと走り回っている先生が多くて嬉しいです。公開授業の時に、子供と一緒に体育をしてみたいです。
- 運動会を観たときに、子供たちの運動能力に大きな差がないと感じました。（目立ってできていない子がいなかった）
- 外遊びがもっとできるとよいと思う。
- 学校でどのようなことが行われているか、あまり分からない。
- ☆早寝早起きなど、家庭での実践や取り組みを授業において取り扱う際には、それぞれの家庭の事情や考え方等に違いがあることを認めながら、話し合っていけるように指導してもらいたい。
- ☆給食のメニューのレシピを公開してほしい。



- ⑨休み時間での外遊びを奨励しています。その中で体力を付けさせていくならいます。今年度は行動制限がなくなり、より多くの体育的活動に取り組めるようになりました。
- ⑩食育活動などは給食のメニュー紹介や献立紹介をはじめ、各教科の学習の中でも折に触れて指導をしています。地域の農家の方の出前授業など、学習機会の選択肢を増やすよう努めます。また、様々なご家庭の事情や文化・習慣の違い等を理解し、受容しながらの指導法を工夫していきます。
- ⑪避難訓練・交通安全教室・自転車安全教室・セーフティ教室・情報モラル教育は、今後も年間を通じて計画的に実施していきます。